

土佐町石原地区の取組について

→ 10地区ある。

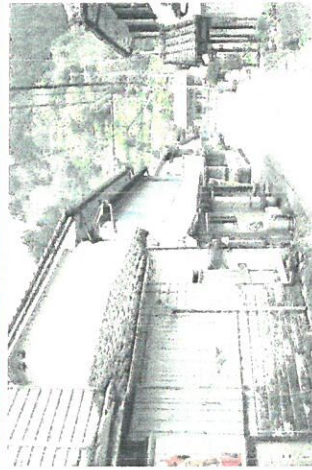
つどう ふれあう 助け合う いいとこ石原
集落活動センター いしはらの里
いしはらの里協議会

以前から「石原校下会」という複合施設があった。

石原地区(有間、峯石原、東石原、西石原)

■石原の現状

- ・少子化、高齢化
- ・買い物が不便
- ・足がない
- ・皆が集う場所がない
- etc...

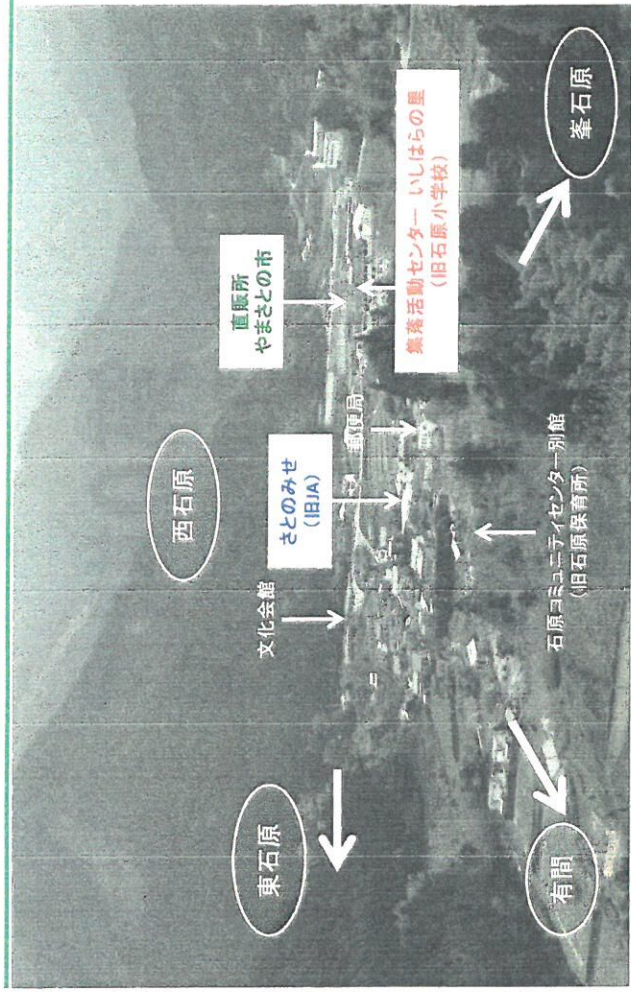


■石原の人口 ※平成28年4月1日現在
179世帯、358人 高齢化率:49.4%

東石原	49世帯	119人	48.7%
西石原	93世帯	178人	47.8%
峯石原	27世帯	44人	56.8%
有間	10世帯	17人	52.9%

石原地区(有間、峯石原、東石原、西石原)

→ 旧石原小学校区



第0期 集落活動センター立ち上げに向けて

▼平成23年11月～平成24年6月

⇒集落活動センター説明会、ワークシヨップ、各部落説明会、他

第1期 集落活動センター開所、実働開始

▼平成24年5月～

- ⇒いしはら七まつり、よさく市、ライトアップ、他
- 平成24年5月 「いしはらの里協議会」設立
- 平成24年7月 「集落活動センターいしはらの里」立上げ
- 地域おこし協力隊、集落支援員を配置

第2期 合同会社設立、外部人材との連携

▼平成25年1月～平成26年3月

- ⇒「合同会社いしはらの里」設立、いしはらきじょう、他
- 平成25年2月 協議会が中心となりガソリンスタンド営業再開
- 平成25年11月 「合同会社いしはらの里」設立

第3期 集落活動センター体制の整備

▼平成26年4月～平成27年3月

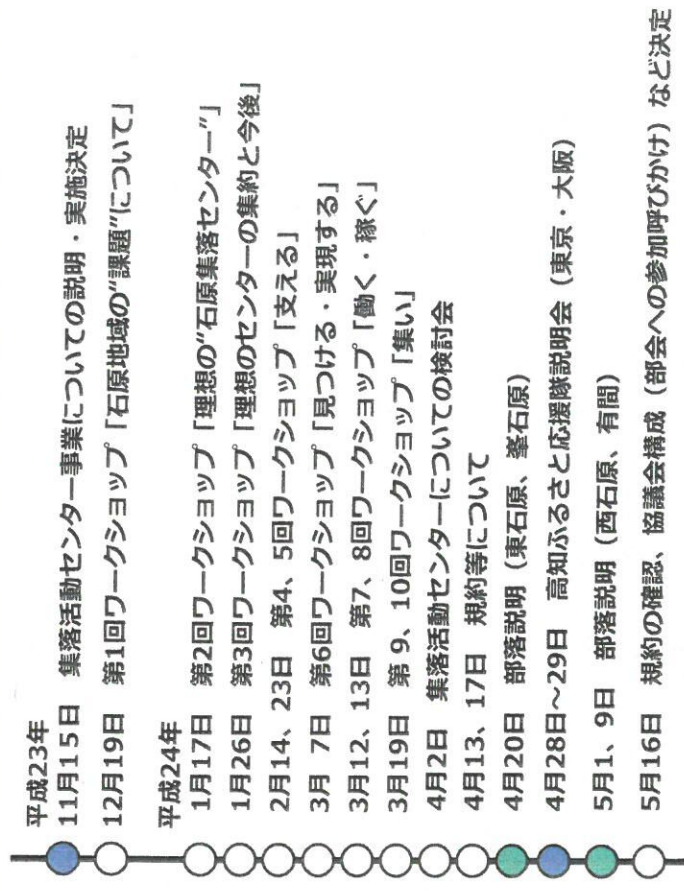
- 平成26年11月 「やまざとの市」設置、運営開始
- 平成26年3月 設備改修、太陽光パネル設置

第4期 地域を次の世代に受け継ぐため

▼平成27年4月～

- いしはらの住宅プロジェクト
- 林業人材育成事業

第0期 集落活動センター 立ち上げに向けて (23年11月～24年6月)



集落活動センター説明会（23年11月17日）

集落調査から

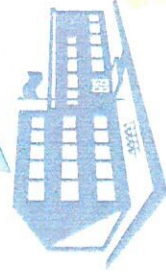
- ・人が減って、集落の維持が大変
- ・若者が働ける場がない、若いもんがおらん
- ・外にでるのがしんどいお年寄りが増えた
- ・地域にお店がなくなったら、バスが来なくなったら・・・
- ・ここですらやってお金を稼ぐ？



地域の色々な悩みこと・・・

集落の支え合い活動の拠点づくり

- 旧小学校校舎などを活用
 - ・県から初期投資へ助成（改修・備品など）
- 外部人材の活用
 - ・地域おこしコーディネーターの導入
 - ・Uターン、Iターン移住者をスタッフに
- 雇用の場づくり
 - ・地域の若者や人材の雇用の場として



旧小学校区ごとに設置

“集落活動センター（仮称）”

ワークショップ（23年12月～24年3月）

▼やるなら「楽しく、賑やかに！」

楽しくない場に、人はあつまりません。
ちょっとした工夫・遊び心も大事です。

▼ひとつの言葉も落とさない！

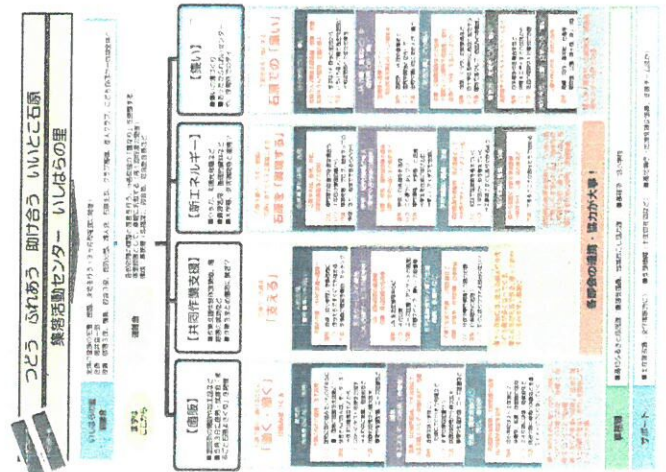
まとめをつくるときには、全ての言葉を蛍光マーカーで消しながら、図にしていきました。

▼ひたすら打合せ、毎回打合せ

2時間のワークに4時間（2倍の時間）打合せをしたことがあります。でも最初は、それが必要でした。



そして、
完成した全体図



いしはら直版部 第2回部会内容のまとめ

■日時：平成24年6月28日(木) 19:30~21:00 ■場所：石礫小学校 多目的室 ■出題者：

まず、それぞれの意見を出してみよう

- [illegible]

会のまとめを作成、皆様に配布。

* 88しお"天々白白351, 334, 333, 332, 331, 330, 329, 328, 327, 326, 325, 324, 323, 322, 321, 320, 319, 318, 317, 316, 315, 314, 313, 312, 311, 310, 309, 308, 307, 306, 305, 304, 303, 302, 301, 300, 299, 298, 297, 296, 295, 294, 293, 292, 291, 290, 289, 288, 287, 286, 285, 284, 283, 282, 281, 280, 279, 278, 277, 276, 275, 274, 273, 272, 271, 270, 269, 268, 267, 266, 265, 264, 263, 262, 261, 260, 259, 258, 257, 256, 255, 254, 253, 252, 251, 250, 249, 248, 247, 246, 245, 244, 243, 242, 241, 240, 239, 238, 237, 236, 235, 234, 233, 232, 231, 230, 229, 228, 227, 226, 225, 224, 223, 222, 221, 220, 219, 218, 217, 216, 215, 214, 213, 212, 211, 210, 209, 208, 207, 206, 205, 204, 203, 202, 201, 200, 199, 198, 197, 196, 195, 194, 193, 192, 191, 190, 189, 188, 187, 186, 185, 184, 183, 182, 181, 180, 179, 178, 177, 176, 175, 174, 173, 172, 171, 170, 169, 168, 167, 166, 165, 164, 163, 162, 161, 160, 159, 158, 157, 156, 155, 154, 153, 152, 151, 150, 149, 148, 147, 146, 145, 144, 143, 142, 141, 140, 139, 138, 137, 136, 135, 134, 133, 132, 131, 130, 129, 128, 127, 126, 125, 124, 123, 122, 121, 120, 119, 118, 117, 116, 115, 114, 113, 112, 111, 110, 109, 108, 107, 106, 105, 104, 103, 102, 101, 100, 99, 98, 97, 96, 95, 94, 93, 92, 91, 90, 89, 88, 87, 86, 85, 84, 83, 82, 81, 80, 79, 78, 77, 76, 75, 74, 73, 72, 71, 70, 69, 68, 67, 66, 65, 64, 63, 62, 61, 60, 59, 58, 57, 56, 55, 54, 53, 52, 51, 50, 49, 48, 47, 46, 45, 44, 43, 42, 41, 40, 39, 38, 37, 36, 35, 34, 33, 32, 31, 30, 29, 28, 27, 26, 25, 24, 23, 22, 21, 20, 19, 18, 17, 16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0

■移動手段がない人への手助け ⇒ 現場おこし協力隊へ相談など(県の志所)

コサザンヤイン担当者招いての勉強会を、次回館会に7月8日(月)15:00～赤石原小学校 5日室

⇒いいしはらの里協働会への提言方法などは、今後検討をする。

4つの方向性

石原で暮らしてつづけるために

「傳」・「稼」

仕組みをつくる

- 「ありのままの田舎」「田舎でしか体験できないもの」を活かす
■若い世代が暮らせる環境をつくる

石原を暮らしやすい環境に／
石原に来てもらえる環境にする

- 農畜林資源や、自然、史跡など、地域の資源を研究し活用する
⇒大学等研究機関との連携も

石原で／石原を

「支える」

- 農作業や地域の共同作業の支援
 - 生活サービスの維持
- ⇒ 誰にとつてもやすい環境に

石原全体を元気にする
石原での「集い」

- 人の集まり＝
が、全ての取組の肝となる。
⇒地域の様々な場を集い。

4つの部会活動が始動

直販部

- 直販所の設置、集出荷の仕組み
- J A旧資材倉庫を集荷場に？
- 将来的には国道沿いに道の駅？

新エネルギー部

- 小水力や太陽光など再生可能エネルギーの利用
- まずは勉強会から

集い部

- 既存の集いの維持や、新たな集いの場の創出
- 農協倉庫を居酒屋に？

共同作業支援部

- 集落の共同作業支援や、人材派遣などの仕組みづくり
- 一方で、資源発掘も。

組織体制の検討、各部落への説明(24年4月～6月)

▼規約などの整備

(補助金申請等に必要)

住民全員が会員であることを明文化

⇒規約の整備過程で、意外と時間がかかった。

必要最小限の簡単なものでも可かも。

▼各部落で説明会の実施

部落の定例会などに合わせて、概要説明を実施

⇒「いしはらの里」に関わる人の増加

一方で、情報共有の難しさも実感。

▼ふるさと応援隊説明会(東京・大阪)

石原地区住民全員が会員

いしはらの里協議会

協議会への提言 ⇄ 部会間の調整

連絡会

共同作業
支援部

直販部

新エネルギー部

集い部

- ・ 合同会社設立委員会
 - ・ セタまつり実行委員会
 - ・ インターネット広報委員会
- 等、必要に応じて部会・委員会とも設置予定。

合同会社

H27年5月～
会員として
定める

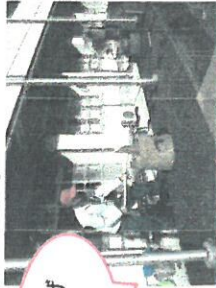
第1期 集落活動センター開所、 実働開始 (24年5月～24年12月)

「よさく市」のその後（第3回～第5回）

概要

- ・春と秋、年2回定番化！
- ・東石原、西石原、峯石原
それぞれの婦人会から特色ある出品
・試行錯誤
- 加工品試作、ライブイベント実施、等
- ・直販部会主体で企画・運営
- ・集落活動センターで食品加工
等の許可を取得
- ・宣伝広告
新聞の折り込み広告、新聞・テレビの
イベント欄、Facebook等

集客・売り上げ
増加



集落活動センター開所（24年7月1日）

（写真）

集落活動センター看板かけの様子。



左から
土佐町 西村 卓士 町長
高知県 尾崎 正直 知事
いしはらの里協議会 筒井 良一郎 会長

「よさく市」のその後

第6回秋のよさく市

（26年11月16日）

直販所「やまさとの市」（詳細後述）
オープン記念せしモニーと同時開催。

第8回秋のよさく市

（27年11月29日）

新国道開通に合わせて開催場所を
直販所「やまさとの市」に移し、開催。

27年11月29日（土）
↑（17年11月29日）
各回
美と月曜日の開校
8～10月開催
（15%が全額入る）



いしはら七タまつり（24年7月7日）

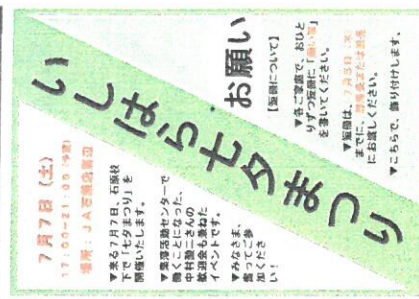
概要

- ・集落活動センター開所記念イベント
- ・町中に、願い事を書いた短冊を飾る。
- ・町中のライトアップ
- ・高知県下の大学生も交えてワークショップ、
七タまつりの概要を検討。



結果

多くの来場者でにぎわい、今後に向けた雛形
（ライトアップ、短冊を飾る、等）が完成。

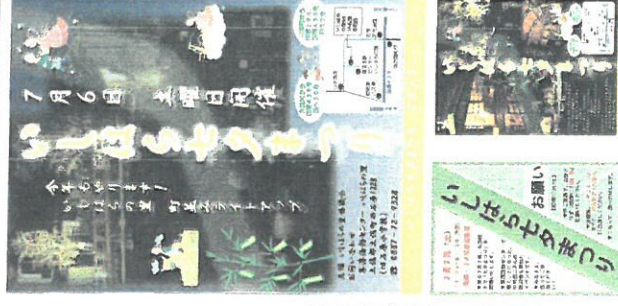




いしはら七まつり2013 (25年7月6日)

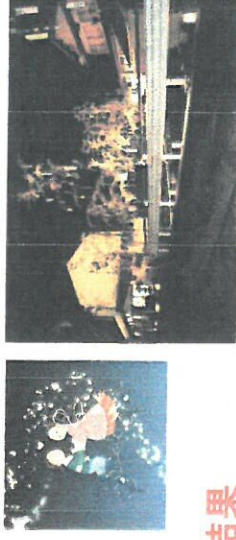
▼概要

- ・実行委員長他、主要メンバーに若手を。若者を育てる地域へと。
- ・町並みライトアップ
ロウソク、投光機、キャンドル、LED。
- ・民家の壁にアニメーション。
- ・昔の石原の映像等を投影。
- ・緑の花嫁 交流イベント実施。



▼結果

前回に引き続き盛り上がる。
七タまつりを続けることへの手応え。



いしはら七タまつり2014 (26年7月5日)

▼概要

- ・前回に引き続き、実行委員長他、主要メンバーに若手を。
- ・今後の継続の為、一地域外へ出ている石原出身者など、知り合いへ声かけ
- ・実行委員会、子ども会でも会で屋台を出して、祭りの運営資金稼ぎを試行。
- ・前回までの雛形の踏襲。
- ・町並みライトアップ
- ・民家の壁に映像を投影、他



▼結果

- ・口コミによる来場者の大幅な増加。
- ・屋台の売上で継続の仕組みの目処が立つ。



いしはらの里 ライトアップ2012 (24年12月26日)

▼概要

- ・「いしはら七タまつり」続編
短冊の願い事を叶えるイベントに！
- ・一嶺北一のイルミネーション。
- ・一竹やぶの整備をしてほしい。
- ・一〇〇さんとデートしたい。

・実施内容

- ・拠点施設校庭に、2000個のキャンドルと、大きなモミの木を配置。
- ・一竹を使った鯨のオブジェ。
- ・地域×大学生
高知工科大学生が企画段階から関わる。



いしはらの里 ライトアップ2013

▼概要

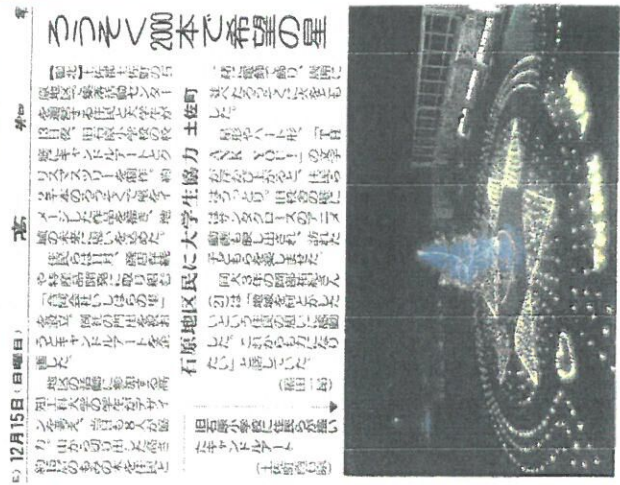
- ・地域×大学生
- ・地域の若手と、高知工科大学を中心とした実行委員会により企画・運営。
- ・キャンパルのレイアウトを担当。
- ・実施内容
 - ー キャンドルとモミの木を配置。
 - ー 学生と地域の交流、お疲れさまの意味をこめて、忘年会を同時開催。



いしはらの里 ライトアップ2013

▼結果

- ・高知新聞に、写真付で取り上げて頂く。
- ⇒ 取り組みのPR。
- ・このイベントに関わった学生の一部が、引き続き、石原に関わってくれる。(後述)
- ー いしはらげきじょう (後述)
- ー 峯石原での農業インターン。



地域 × 大学生 その他

▼その他

- ・東京学芸大学ゼミ合宿 (24年10月6日、9日)
- ・高知工科大学学生による、石原の町並み改修案の卒業論文発表会。 (25年3月15日)
- ・高知大学学生によるフリーペーパー、地域PR映像製作 (26年6月、7月)
- ・甲南大学 (兵庫県) 学生の、農家民泊体験受け入れ。 (26年8月28日～9月4日)
- ・高知工科大学学生による、峯石原での農業インターン。 (26年4月～)

他

▼結果

- ・地域がにぎやかに、楽しく！
- ・学生の視点から地域に様々な提案。



ホテル生息の調査と環境づくり (集い部会)

▼ホテル生息調査 (25年5月31日～6月16日)

	5/31	6/3	6/7	6/9	6/11	6/14	6/16
地点①	0	0	0	2～3匹 8時頃	4～5匹 7時55分	4～5匹 8時25分	3匹 7時55分
地点②	1匹 8時	0	0	0	2匹 8時10分	0	3～5匹 8時15分
地点③	0	1匹	1匹 8時10分	2～3匹 8時10分	5匹 8時15分	6匹 8時35分	4～5匹 8時30分
地点④	0	3～4匹	4～5匹 8時15分	3～4匹	10匹 8時25分	10匹 8時45分	10匹 8時40分
地点⑤	1匹 8時30分	0	2～3匹 8時25分	0	10匹 8時45分	0	10匹 8時50分

※ 石原におけるホテルの生息を確認

▼ホテル繁殖用土手づくり (25年9月14日)



塚の整備（共同作業支援部会）（25年6.23日）



屋根が崩落した塚



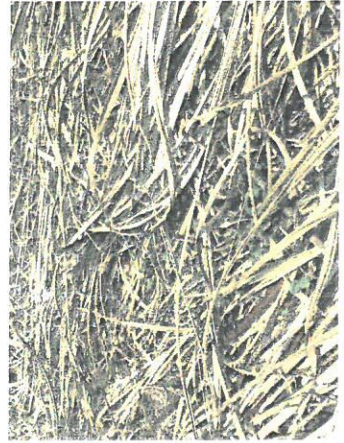
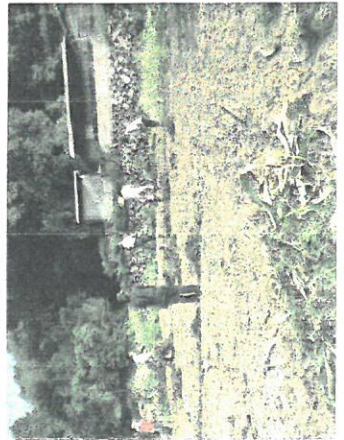
完成



記念撮影

蕎麦の種まき（25年8月）

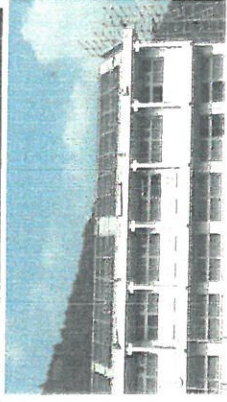
- ・新エネルギー部会、共同作業支援部会が共催。
 - ・耕作放棄地に蕎麦の種をまく。
- 育ったそばは、下記のように観光資源として活かす予定。
- －蕎麦の花鑑賞
 - －水車で蕎麦をつく。



小水力発電、試験的に設置（新エネルギー部会）



- ・太陽光発電
 - ・集落活動センター屋根に太陽光パネルを設置。
 - ・小水力発電
 - －水車小屋など観光資源として。
 - －水車で蕎麦をついてはどうか？
 - －小水力発電視察（25年6月27日）
- 土佐町内で小水力発電を行っている、伊勢川と立割を視察
⇒小水力発電装置を設置
直販所「やまさとの市」の街灯を
小水力発電で点灯させる



石原コミュニティセンター
太陽光パネル設置



北郷谷小水力発電予定地

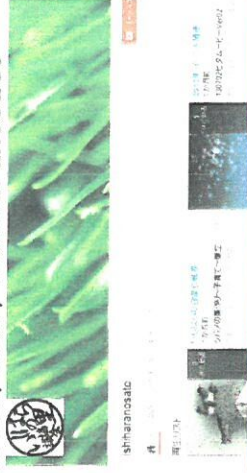
インターネットでの情報発信（25年6月～）



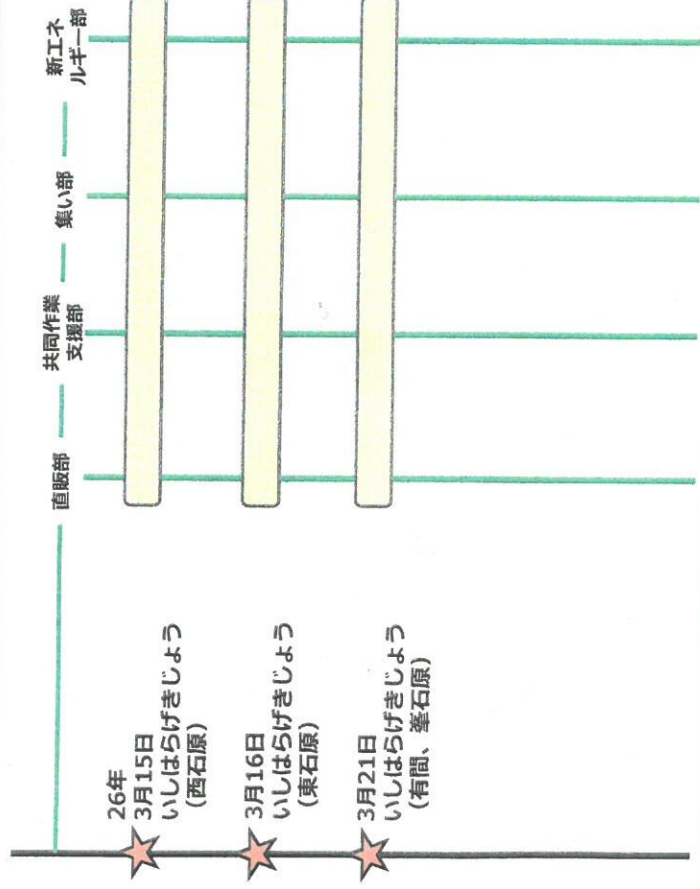
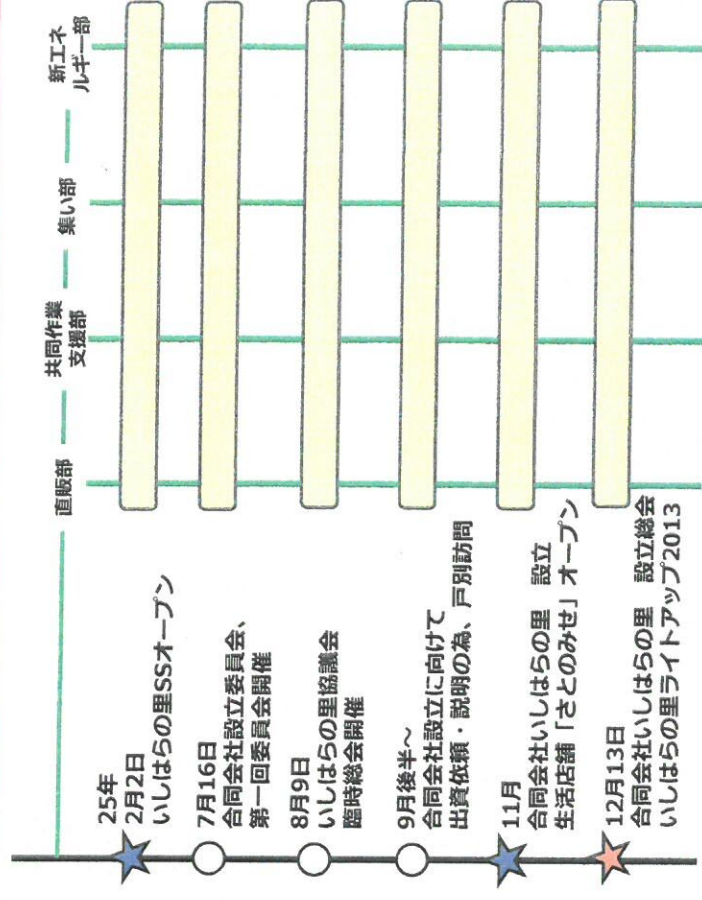
<https://www.facebook.com/IshiharanoSato>



<http://www.youtube.com/user/ishiharanosato>



第2期 合同会社設立、 外部人材との連携 (25年1月～26年3月)



いしはらの里SS設立 (24年8月～)

▼JA石原店の営業縮小・休止

24年4月から、これまで石原でガソリンスタンド、生活店舗を運営していた、JA土佐れいほくの合理化方針により生活店舗の営業縮小、ガソリンスタンド等が休止。一人暮らしの高齢者層を中心に生活不安が高まっていた。

▼SS過疎対策事業の実施

24年8月、経済産業省のモデル事業（燃料供給不安定地域対策事業：SS過疎対策事業）に提案・採択され、いしはらの里協議会が中心となりスタンドの経営に取り組む。

いしはらの里SS設立 (24年8月～)

▼SS運営委員会発足

平成24年～25年にかけて、いしはらの里協議会内に、SS運営に向けた実行委員会を発足。
SSオープンに向けた実行委員会を結成。

いしはらの里SS オープン (平成25年2月)

→ 利益は出る



いしはらの里SS設立での苦労

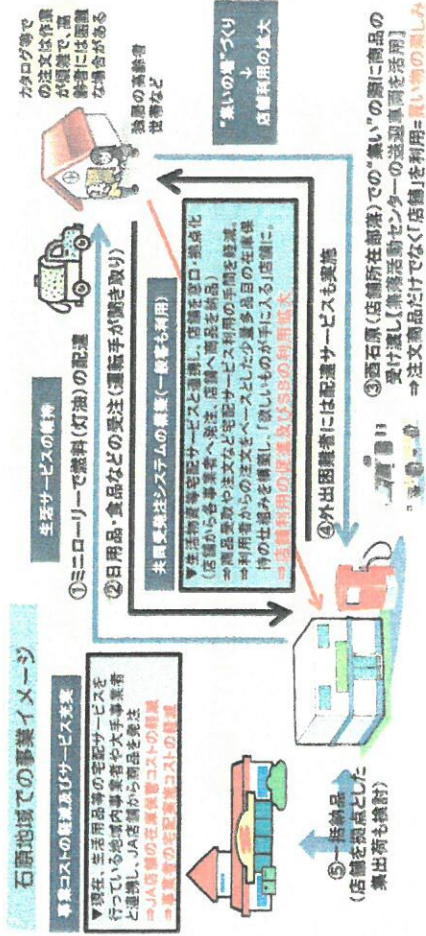
▼設立時

- ・事業開始にあたり各方面へ手続きが必要。
その際、資格取得者がいないとできない場合もあり。
- ・消防法関連
 - 管轄消防署の設置基準確認
 - ⇒ 新設の場合、メーカーが手続きを代行してくれること
 - 危険物管理者 (資格所持者) が必要
- ・揮発油等の品質の確保法関連
 - 揮発油 (ガソリン) の取扱いは、四国経済産業局へ開業登録の手続きが必要
 - 揮発油品質維持計画認定申請
 - 必要様式は、経産局のホームページに掲載されている

いしはらの里SS設立 (24年8月～)

▼事業モデル

灯油配達時に、必要な生活必需品が無いからヒアリング。
※ガソリンスタンドと生活店舗併設の利点を生かす。



いしはらの里SS設立での苦労

▼設立後

- ・揮発油の軽減分析
給油所は10日毎に揮発油の品質分析を受ける必要があり、ランニングコストが高くなる。
経産省から「品質維持計画」の認定を受けることで、年1回の分析に軽減されるが、事務手続きが煩雑
- ・品質維持誓約書
生産業者 (元売り) ・中卸・給油所での連名契約が必要。メーカー側での事務手続きに日数がかかるため注意。
- ・揮発油分析結果証明書
→ 社団法人全国石油協会と揮発油分析委託契約を結び、1ヶ月間分析を受け、品質に問題がないと、証明書が発行される。
→ 証明を取得すると速やかに経産省への届け出が必要 (10日以内) となるため、手続きスケジュールは事前に十分確認が必要

合同会社設立に向けて (25年7月～)

▼合同会社設立委員会

- ・合同会社設立委員会
「直販」「共同作業支援」「新エネルギー」「集い」の各部会から代表者を選出。
合同会社設立委員会を発足。
平成25年7月から10月末まで全7回、委員会を開催。
- ・合同会社の骨子
ガソリンスタンド、店舗維持の為、
どのような事業を並行して行うかについて模索。
- ・地域住民の皆様の合同会社にする為、
全戸を回って説明と出資依頼。
(25年9月より全戸訪問開始)

合同会社設立に向けて

▼合同会社いしはらの里

- ・平成25年11月1日
出資金約214万円。
出資者(社員)211名にて登記。
[H27年] 出資者243名
出資金271万8千円

- ・同時に、生活店舗
「さとのみせ」の運営開始
-内装リニューアル
(平成25年11月より)
-看板あげ (平成25年12月13日)

- ・合同会社いしはらの里 設立総会
(平成25年12月13日)

美と
5~7月/日
さとのみせ



合同会社設立に向けて

▼合同会社いしはらの里

出資金 1口 ¥1,000

直販・販売

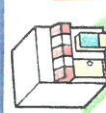


販売事業
・地域産農産物の加工・販売
・地域産木材・木材製品の企画・製造・販売
・酒類の製造・販売



いすれも、直販
所・ネット
店舗・県内外小
売店への卸し等、
複数経路で販売
を進める事を想
定しています。

支えあい事業



支えあい事業
・ガソリンスタンドの経営
・日用品雑貨販売 (生活店舗、農林業資材)
・人材派遣事業 (人的支援)

新規予定事業



インターネット事業
・インターネット
・ショップ経営、他

地域拠点の運営
・道の駅・直販所
・飲食店・喫茶店の経営
・居酒屋、カフェ、和洋食堂、他
・宿泊施設の経営

観光業・旅行業

・体験・交流事業
・移住体験、他
・農業体験、他
・旅行代理店業

観光案内
情報発信
案内マップ作成
観光PRツール作成

地域環境整備事業

・地域産木材を活用した
住宅の販売
(健康・省エネ住宅販売)
・地域資源及び環境整備
森林・河川・道路・
史跡・公園の整備

地域 × 外部人材 (25年4月～26年3月)

▼概要

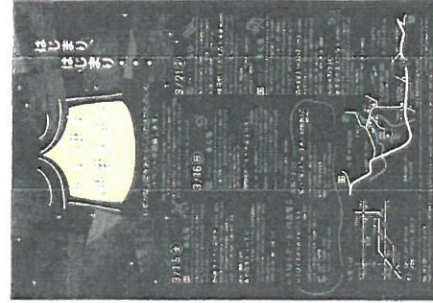
- ・構成メンバー
地域コーディネーター 濱田竜也氏を中心とし、
カメラマン、デザイナー、建築家、文化財の専門家、他。
加えて、高知県下の大学生を中心とした学生団体が参加。

外部の若者×外部の専門家×地域

- ・事業概要
- 地域資源の活用
西石原の旅館跡、各部落の寺社、地域の自然、他
- 地域PRツール制作

▼いしはらげきじょう

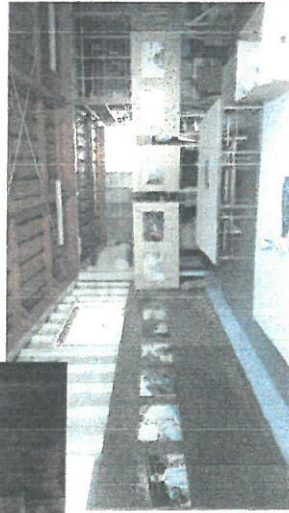
それぞれの地区の特色を活かしたイベントを開催。



▼いしはらげきじょう (西石原)



1日居酒屋
(26年3月15日)
かつて地域の集いの場
だった旅館跡を、1日
だけ居酒屋として復活。



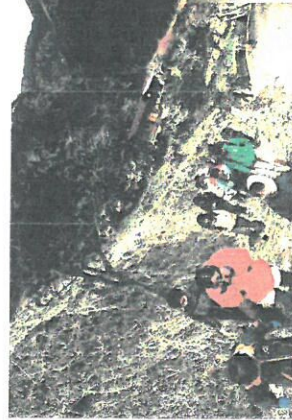
スマイルプロジェクト
(26年3月15日～21日)
地域の方の笑顔を写真展示。
さとのみせにて。

▼いしはらげきじょう (東石原)



演劇・音楽 (26年3月16日)
かつて廻り舞台があった河内神社にて、
音楽と演劇の披露。

▼いしはらげきじょう (有間、峯石原)



峯石原 (26年3月21日)
薬師堂にて、薬草餅と薬草
茶のふるまい。
建築家による3坪ハウス
(後述)の解説。



有間 (26年3月21日)
清流をさかのぼると突
如現れる桃源郷 有間
にて、地域散策。

▼建築プロジェクト (有間、峯石原)

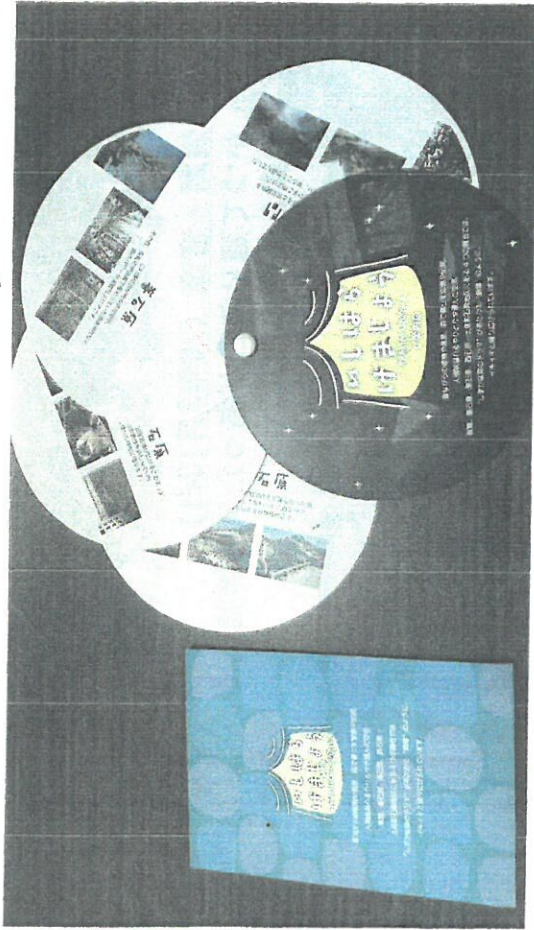


有間3坪ハウス
地域の集いの場、
集出荷場として活用。



峯石原3坪ハウス
薬師堂の隣に建設。
峯石原出身の方が訪れ
た時の滞在の場所とし
て活用。

▼地域PRツール（フリーペーパー）

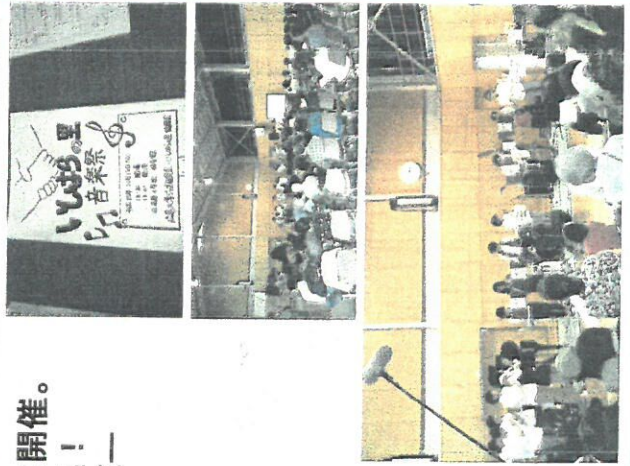


いしはらの里音楽祭（25年10月13日）

- ・広島大学ジャズ研究会と共同開催。
- ・石原出身の広島大学生が発起！
- 同大学ジャズ研究会のメンバー13名が石原を訪れる。



いしはらの里の取り組みが、
現在、石原を出ている
若い世代を動かした！



第3期 集落活動センター 体制の整備 (26年4月～27年3月)

集落活動センター施設改修（26年4月～）

集落活動センターの今後に向けて、26年度に必要な施設改修を実施予定。地域の婦人、若手などが別々に集まり、出た案をもとに施設改修案をまとめる。

▼改修案概要

石原に若者を増やそう！今の石原を次の世代に！

・地域の生産拠点（稼ぐ拠点）として

調理室について

- ー各部落の婦人会等が同時に使用できる様、広い調理室を。
- ー流し台、配膳台、ガス台が1箇所にとまとまるレイアウト。

・職業体験・訓練拠点として

簡易宿泊（短期滞在）でき、農業・林業の体験・職業訓練ができる。

・交流拠点として

- ー多目的ホール・・・地域内、及び地域内と地域外の交流拠点
- ー託児所・・・小さい子どもがいる方でも、交流・体験等に参加できるように。

・観光拠点として・・・地域の観光案内所。

・避難所として・・・浴室・トイレ等含めバリアフリー化。日用品備蓄。



直販所「やまとの市」開設に向けて（26年4月～）

概要



- ・主な販売品
 - 地域の農産品・山菜、等
 - 加工品（たけのこ寿司、山菜の漬物、等）
 - 昔なつかしのうどん

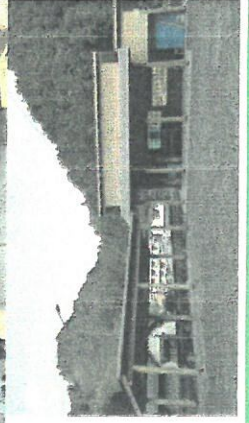
かつて、地域の旅館で販売していたうどん

- その他、地域産品を使用した軽食



石原コミュニティセンター施設改修完了(27年3月)

(26年11月23日～)
毎週日曜日10時～15時



国道439号線石原バイパス開通 (27年 1月27日)

国道439号線石原バイパス開通式
H27年11月27日(金)
念願の新国道、トンネル開通！！



第8回秋のよさく市
H27年11月29日(日)
よさく市開催場所を
やまさと市の市に移して開催



第4期 地域を次の世代に 受け継ぐため (27年4月～)

今後の予定・・・

誰もが安心して生活ができる
“いしはらの里” づくり

- ・ 国道沿いの直販所「やまさと市」運営
- ・ 生活店舗「さとのみせ」の運営
- ・ 石原コミュニティセンター施設管理運営 → H27年～
- ・ いしはらの住宅プロジェクト
- ・ 林業家人材育成事業

取り組みのきっかけ

集落活動センター立上げ前の林業・若者・住居に関する意見

山師の学校(林研学校)	間伐材・残材の販売方法・活用を考える場の提供	誰もが気軽に泊まれる宿泊施設があればよい	日当たりが悪いため、冬場暖かいところに住みたいお年寄りがいる
講師は地元の有志を活用する	林業が復活してほしい	空き家を利用して住む人を募る	若者版のカムバック・サーモン
林業の担い手育成	林業の活性化	住宅確保	お年寄り・若者のために

◇いしはらの家プロジェクト
◇いしはらお山の学校 林業人材育成事業

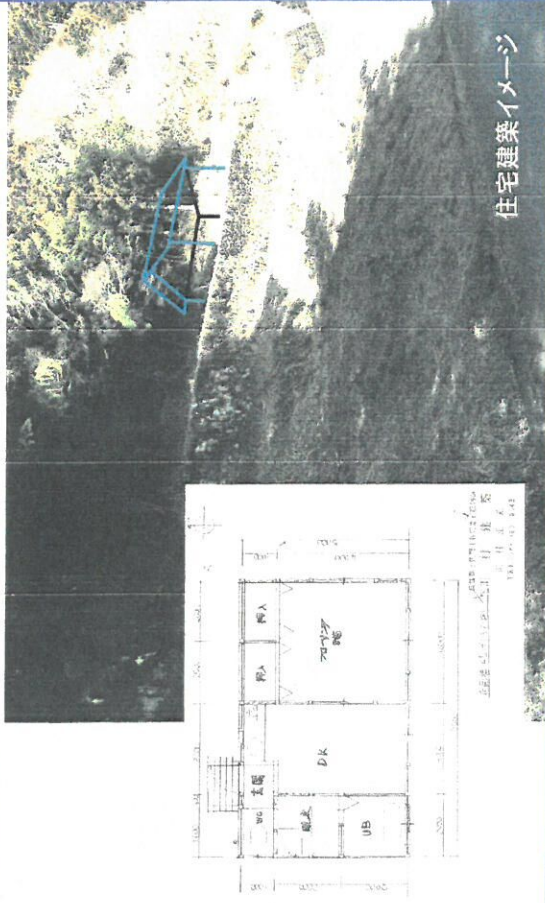


木の家プロジェクト

※事業費 800.)

- ・平成28年度の集落活動センター推進事業を活用して、モデル住宅を1棟建築予定。
- ・今後、住宅建築、住宅運営・管理などについて協議する場を設ける。

⇒やまし部会(仮)の立上げ



住宅建築イメージ

今後の目標

◇いはら木の家の家プロジェクト

モデル住宅として展示し、石原地区や土佐町内への移住・建築希望者に対して、おためし宿泊体験の受け入れを行い、将来的には健康住宅の販売を行う。

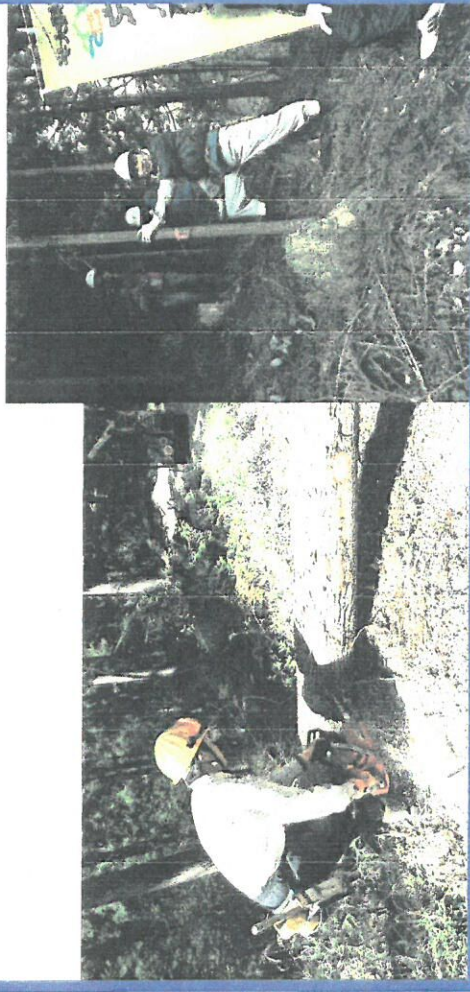
◇いはらお山の学校 林業人材育成事業

今後研修内容を充実させることで、林業の担い手となる若者を育成し、石原地区の林業を活性化させるとともに、宿泊の受け入れ等を通じて、集落活動センターの収益増加に繋げる。

いはらおの学校 (林業人材育成事業)

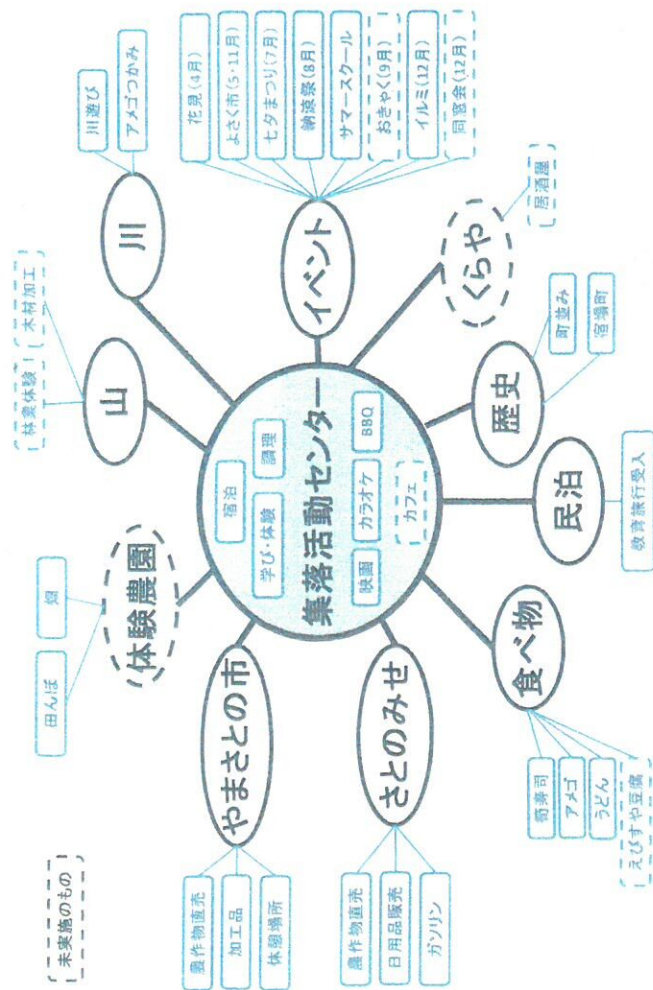
- ・平成28年度は県、土佐町役場、民間企業と連携し、林業インターンシップの取り組みを更に推し進めていく。
- ・合同会社では、講師のコーディネートや参加者の宿泊受け入れを行う。
- ・今後は、木の家のプロジェクトと同様に話し合いの場を設ける。

⇒やまし部会(仮)の立上げ



ご清聴、ありがとうございました。

いしはらにある資源の洗い出し



- あるもの活用しよう
- あったものを再活用しよう
- 439号を通過するバイカーやサイクリストを呼びこもう
- 売上・利益目標とやることを明確にしよう
- 積極的かつ効果的な情報発信をしよう
- 石原のみなさんの力を結集しよう
- 石原をより魅力的な場所に！
→ 目指すは『いいはらブランド』